MAN-211　LM18　2023年6月1日発行

LIXIL スタイルシェード 金属サイディング用アタッチメント 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注　意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

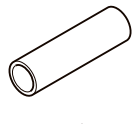
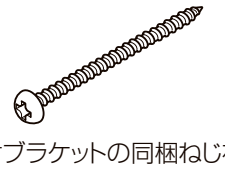
●本体の落下の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 必ず胴縁、柱などの躯体がある場所に取付けてください。金属サイディングのつぶれ、本体落下の原因となるおそれがあります。
- 躯体位置が分からない場合、および躯体の強度が保持できない場合は、取付けしないでください。
- 構造体が経年変化で損傷が著しい場合は、お施主さまと十分な打合せをし、必要に応じて補修をしてから取付けてください。
- タッピンねじの下穴は、胴縁の中心を狙いφ3.5のドリルをご使用ください。
- φ10のスペーサーの下穴は30mm以上あけないでください。
- 取付けする前に金属サイディング厚および、通気層厚を調査してください。金属サイディング厚・通気層厚が分からない場合は、取付けないでください。

●漏水の原因になりますので下記事項をお守りください。
- 金属サイディングに穴をあけてねじ止めするところは、あらかじめねじ穴にコーキング材を充てんしてください。
- シーリング指定個所には必ずコーキング材を充てんしてください。
- コーキング材は金属サイディング表面より厚く盛り上げてください。

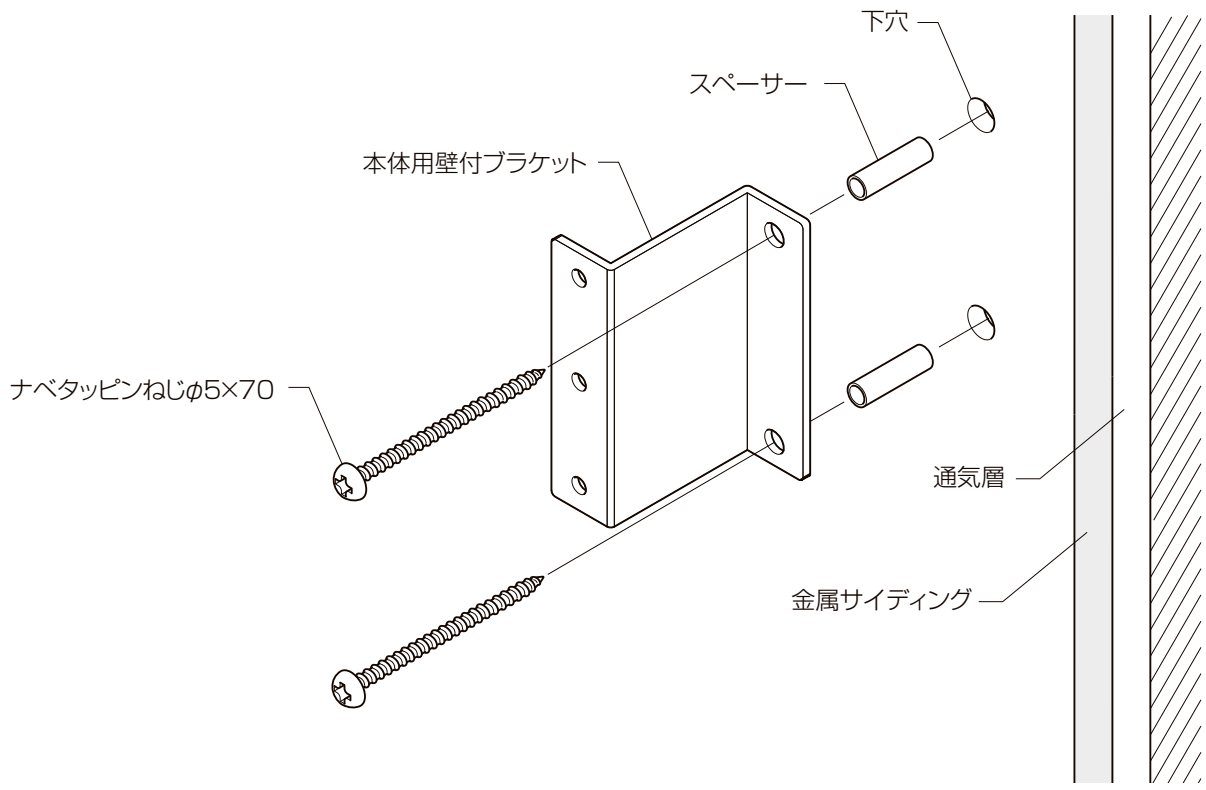
■取付け上のお願い

●本品は壁総厚 30mm（通気層厚＋金属サイディング厚）専用です。他の壁厚への取付けはできません。
※段差、突起物、著しい不陸がある場合は取付けできません。

■部品一覧表

スペーサー	ナベタッピンねじφ5×70
	
４本	※本体用壁付ブラケットの同梱ねじを使います。

■構造説明図



■取付け順序

1 取付け穴の位置決め

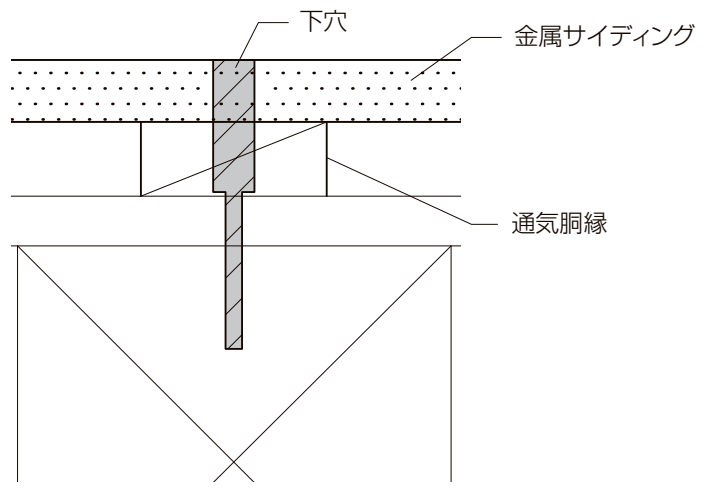
本体用壁付ブラケット取付け位置の墨出しをしてください。
高さ方向取付け位置は、スタイルシェード【壁付用】の取付け説明書の【墨出し位置詳細図】をご覧ください。左右方向は胴縁の中心を狙ってください。

2 取付け穴の穴あけ

①取付け穴の目印に合わせて金属サイディングおよび胴縁にφ3.5の下穴をあけます。(胴縁の中心を狙ってください。)
②下穴が中心になるように、ドリルでφ10の穴をあけます。
深さはアタッチメント取付け面から30mmとしてください。

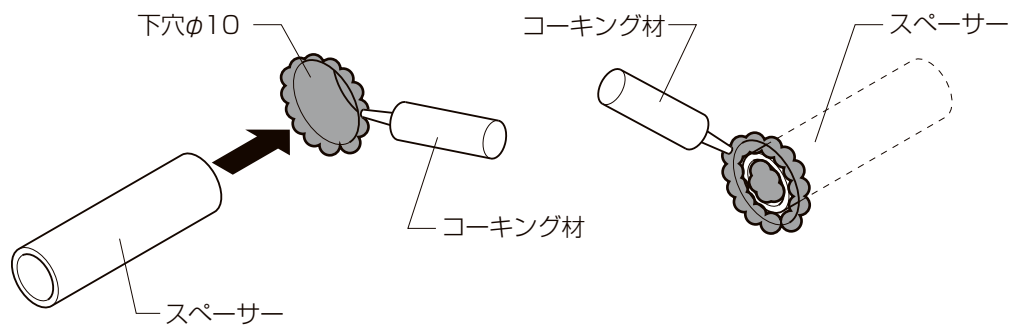
⚠ 注 意

●本体の落下の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・タッピンねじの下穴は、φ3.5のドリルをご使用ください。
・φ10のスペーサーの下穴は30mm以上あけないでください。
●外壁材に穴をあけてねじ止めするところには、あらかじめねじ穴にコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になります。



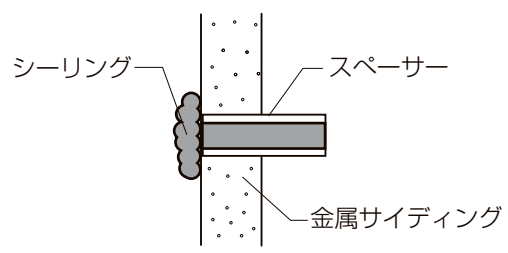
3 部品の取付け

①すべての下穴にコーキング材を充てんしてください。
②φ10であけた下穴にスペーサーを差込みます。金属サイディング表面からはみ出したスペーサーはハンマーで軽くたたいて壁付ブラケット取付け面まで打込みます。
③再度、スペーサー周囲に盛り上がるようにシーリングしてください。



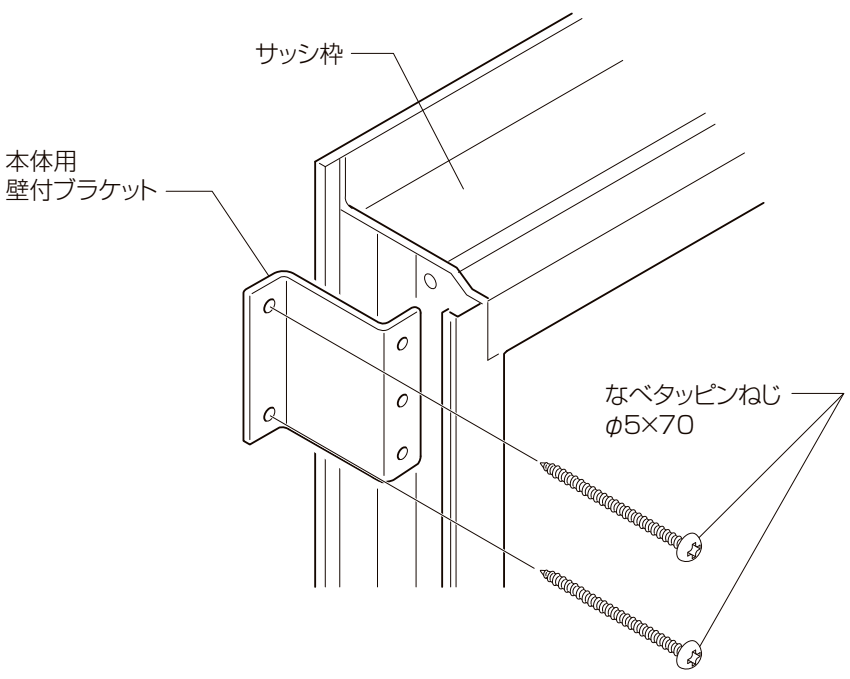
⚠ 注 意

●コーキング材は、金属サイディング表面より厚く盛り上げてください。漏水の原因になります。



4 本体用壁付ブラケットまたはフックの取付け

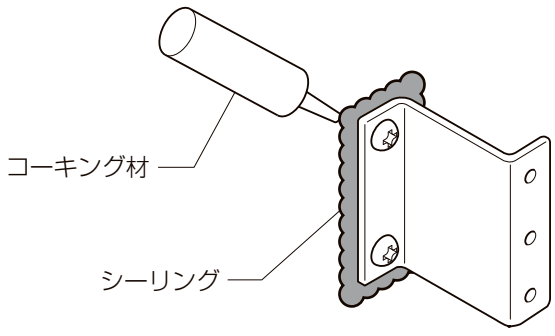
①取付け手順はスタイルシェード【壁付用】の取付け説明書をご覧ください。



②ブラケットと金属サイディングのシーリング
・ブラケットの上面、下面、両側面と金属サイディングの取合い部分にコーキング材を充てんしてください。

⚠ 注 意

●指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になります。



5 スタイルシェード本体の取付け

●取付け手順はスタイルシェード【壁付用】の取付け説明書をご覧ください。